

従業員向け 放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・トイレの穴数は少ない
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・足りない場合は補っている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・仕切りのある部屋、ない部屋とわけて使用している ・どれだけ改善しようとも「これでOK」にはならない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○	○	・掃除、消毒を毎日実施している ・点検、整備が行き届いてない部分もある ・どれだけ改善しようとも「これでOK」にはならない
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別で過ごせる環境が整えられている
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○	・常勤職員での実施になっており、非常勤職員については日々の打合せやケース会議での時間になっている ・あまり全体の職員で参画出来ない
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎年度保護者向けの評価表を実施している
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	○	・全体の職員の意見把握が出来ていない ・課題整理アンケートを使用し職員の意見を集約し反映する ことを行い始めている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者委員会の設置は無し
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○	○	・年に2度全体職員会を実施しその中で法人内研修を行っている ・しているが十分ではない
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・HPにて公表している
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・定期的に面談を行いニーズや課題の把握をし、作成している ・支援計画作成に関わる職員を増やしていきたい
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・個別の対応方法を職員で共通理解しており、検討も出来ている
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・日々の打合せにて児発管から周知を行っている

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムがある時に全体で立案が出来ている ・総合活動を実施する際に各曜日の職員集団で立案を行っている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・色々な案を出して固定化しないように出来ている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・自由遊びや季節の行事等個別活動と集団活動を組み合わせている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日打合せを実施し、状況等を共有している ・しっかり全体で共有ができ、支援もできている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・終了後はケース会議の位置づけにして日々の反省、良かったこと等を共有している ・しっかり共有が出来ている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の利用記録をつけている
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に面談を行いニーズ、課題の確認をして見直している
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに沿った支援をしている ・月に1回カリキュラム会議で検討している
関係機関や保	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・初めてのことや、初めての活動を実施する時等は自己選択が出来るように声掛けしている ・選択肢を増やすことが出来るように支援を実施 何もしないことをする等
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・児発管が参画している
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・各機関と連携がとれるようにしている
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・学校送迎が始まって学校との情報共有は増えている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・みみたのサポートファイルを使用している
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や本人の要望があった場合は行っている

護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	○	・児童発達センターとの連携はとっている 研修情報もいただいているが助言やスーパーバイズは受けていない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	・地域のイベントに参加しているが回数は少ない
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・児発管が参加している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・日々の送迎時やLINEを使用して行っている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・保護者研修は行っていないが家族企画を実施して家族で楽しむ企画を実施している
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用開始時に管理者から説明している
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者ニーズ、本人ニーズを確認する面談を行っている
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的な面談の他、いつでも相談を受け付けている
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・家族企画を実施して、保護者、兄弟交流ができるようにしている
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情解決委員会を設置
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月通信を作成している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・基本的に事業所外へ持ち出さないことを徹底している
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・本人や保護者の要望等配慮している
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・法人で地域学生と連携し行っている
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	○	・マニュアルに合わせて訓練を行っている
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・法人全体職員会で実施

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・細かい内容まで確認し共有が出来る
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・医師の指示を保護者から共有していただき対応している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・毎月点検を行い、定期的に訓練もしている
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・訓練内容等を周知している
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ひやりはつがあった場合は打合せ等で共有、対策を検討している
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・法人全体職員会等で実施 ・職員が研修で学んだことを共有している
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	・現状対象となる利用者はいない